＜問い合わせ状況　2024 年 2 月＞

院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5～10 件程度の問い合わせに対応しています。2 月の疑義照会は 7 件で、内容は以下の通りでした。

●用法用量確認（3 件）

●その他（4 件）

・流通規制品で在庫なし。同種同効薬への変更可か？

・流通規制品が入った処方箋が FAX されたが、送付先は合っているか？

・・・・・・・・・など

薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

2 月は質問がありませんでした。

薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してある DI 室への問い合わせは、2 月は 6 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性があります）。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No.459 に記載しています。

◎9×6 と 3.5×4.5 のサイズの褥瘡がある。カデックス®軟膏 1 本でどのくらいの期間塗布可能か？

●血清クレアチニンが 0.68、体重 51.2、76 歳女性へのイーケプラ®点滴の投与量は？

→クレアチニンクリアランスが 66 となるため通常量 500mg×２で良い

◎ミルセラ®注を室内に 4 時間置いていた。使用可能か？ネスプ®だとどうか？

●アスパラ®K 錠 1 錠は細粒だと何ｇか？ → 0.6ｇ程度

●グラアルファ®点眼の代替薬は？ → グラナテック®点眼 ＋ ブリモニジン点眼

●破傷風トキソイドを打ちたい患者が発熱しているが投与可能か？ → 不可